

## 平成27年6月期 第3四半期決算短信(非連結)

会社名 株式会社 武井工業所  
コード番号 5286

平成27年5月18日  
上場取引所等 フェニックス銘柄  
本社所在地都道府県 茨城県

(URL <http://www.takei21.co.jp>)

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 厚  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 大内 哲朗 TEL (0299) 24-5216  
取締役会決議日 平成27年5月18日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年6月期第3四半期の業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

## (1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	3,789	(△7.2)	244	(△16.3)	217	(△18.7)
26年6月期第3四半期	4,084	(12.8)	291	(35.1)	267	(43.6)

	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益		自己資本 四半期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
		円	銭	円	銭			
27年6月期第3四半期	124 (△43.5)	35	19	—	—	8.7	4.8	5.7
26年6月期第3四半期	220 (35.3)	62	25	—	—	17.2	5.9	6.5

- (注) ① 持分法投資損益 27年6月期第3四半期 — 百万円 26年6月期第3四半期 — 百万円  
 ② 有価証券の評価損益 — 百万円 デリバティブ取引の評価損益 — 百万円  
 ③ 期中平均株式数 27年6月期第3四半期 3,536,656 株 26年6月期第3四半期 3,536,656 株  
 ④ 会計処理の方法の変更 有・**無**  
 ⑤ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
27年6月期第3四半期	4,566		1,448		31.7		409 56	
26年6月期第3四半期	4,533		1,386		30.6		391 97	

- (注) ① 期末発行済株式数 27年6月期第3四半期 3,542,000 株 26年6月期第3四半期 3,542,000 株  
 ② 期末自己株式数 27年6月期第3四半期 5,344 株 26年6月期第3四半期 5,344 株

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年6月期第3四半期	88	△82	△9	252
26年6月期第3四半期	340	△75	△148	309

## 2. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

通期	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
				円 銭	円 銭	円 銭
	4,900	204	126	—	2 50	2 50

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 35円 73銭

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税による駆け込み需要の反動減や円安の進行に伴う輸入原材料価格の上昇懸念などがみられたものの、金融市場の好況や経済対策効果を背景に改善がみられ、景気は緩やかながら回復基調を継続しました。

当社の属する建設業界におきましては、公共投資、民間設備需要とも堅調に推移いたしました。人手不足による労務費の高騰の常態化や、震災復興予算の歳出総額の見通しがたったことによる復興の事業内容に応じた被災自治体への負担の検討に起因する発注量減少の懸念など、引き続き厳しい状況が続くと見込まれます。

このような経営環境のなか当社は、年度末にかけて需要が集中する従来型の市場環境に戻りつつあるなか、顧客のニーズに即した効率的な製造による在庫構成に努め、短納期での出荷・納品を行ってまいりました。

その結果、売上高は37億8千9百万円(前年同期比7.2%減少)となりました。利益面では、営業利益2億4千4百万円(前年同期比16.3%減少)、経常利益2億1千7百万円(前年同期比18.7%減少)、四半期純利益1億2千4百万円(前年同期比43.5%減少)となりました。

なお、品種別売上高の状況は、次のとおりであります。

区分	品 目	前 第 3 四 半 期 累 計 期 間 ( 自 平 成 2 5 年 7 月 1 日 至 平 成 2 6 年 3 月 3 1 日 )		当 第 3 四 半 期 累 計 期 間 ( 自 平 成 2 6 年 7 月 1 日 至 平 成 2 7 年 3 月 3 1 日 )	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
製 品	道 路 用 製 品	669,627	16.4	580,026	15.3
	水 路 用 製 品	1,418,065	34.7	1,437,013	37.9
	擁壁・土止め用製品	361,192	8.8	350,514	9.2
	法面保護用製品	27,184	0.7	27,843	0.7
	そ の 他	205,588	5.0	61,014	1.7
	小 計	2,681,657	65.6	2,456,413	64.8
商 品	コンクリート二次製品	1,252,823	30.7	1,183,137	31.2
	そ の 他	150,138	3.7	150,089	4.0
	小 計	1,402,961	34.4	1,333,227	35.2
	合 計	4,084,619	100.0	3,789,640	100.0

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度と比べて22.4%増加し、20億9千6百万円となりました。主として「受取手形」の増加8千1百万円、「売掛金」の増加3億2千3百万円、「商品及び製品」の減少6千1百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度と比べて0.7%増加し、24億6千9百万円となりました。主として有形固定資産の取得による増加8千4百万円、有形固定資産の償却による減少6千7百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度と比べて22.4%増加し、23億8千8百万円となりました。主として「電子記録債務」の増加1億8千1百万円、「買掛金」の増加1億4百万円、「短期借入金」の増加1億9千1百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度と比べて8.8%減少し、7億2千9百万円となりました。主として「長期借入金」の減少1億4千4百万円、「退職給付引当金」の増加7千8百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度と比べて2.4%増加し、14億4千8百万円となりました。主として「利益剰余金」の増加3千4百万円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は2億5千2百万円(前年同四半期比5千7百万円の減少)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは8千8百万円の増加(前年同四半期は3億4千万円の増加)となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益2億2千1百万円、減価償却費6千8百万円、仕入債務の増加額2億2百万円であり、支出の主な内訳は売上債権の増加額5億2千万円、法人税等の支払額8千7百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは8千2百万円の減少(前年同四半期は7千5百万円の減少)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出6千4百万円、定期預金の払戻による収入3千万円、定期預金の預入による支出4千5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは9百万円の減少(前年同四半期は1億4千8百万円の減少)となりました。これは主として短期借入金の純増額1億9千1百万円、長期借入れによる収入1億円、長期借入金の返済による支出2億6千6百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における業績は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想した結果、平成26年8月12日付の「平成26年6月期 決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒見積高の算定につきましては、前事業年度決算において使用した貸倒実績率によって算定しております。

②たな卸資産の評価方法

たな卸資産のたな卸高につきましては、実地たな卸を行わず、第2四半期会計期間末の実地たな卸高を基礎とした帳簿たな卸によって算定しております。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	276,514	287,451
受取手形	203,759	285,755
電子記録債権	21,552	58,463
売掛金	540,336	864,146
商品及び製品	564,777	502,930
原材料及び貯蔵品	74,941	67,713
前払費用	14,936	12,981
繰延税金資産	18,568	20,504
その他	4,264	3,410
貸倒引当金	△ 6,553	△ 6,535
流動資産合計	1,713,095	2,096,820
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	303,999	298,721
構築物(純額)	129,170	139,458
機械及び装置(純額)	93,868	107,422
車輛運搬具(純額)	246	246
工具、器具及び備品(純額)	84,289	85,063
建設仮勘定	—	3,038
土地	1,605,433	1,605,433
リース資産(純額)	98,682	93,295
有形固定資産合計	2,315,689	2,332,678
無形固定資産	4,872	4,817
投資その他の資産	131,124	132,411
固定資産合計	2,451,685	2,469,906
資産合計	4,164,781	4,566,727

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	168,799	85,183
電子記録債務	—	181,912
買掛金	220,352	324,717
短期借入金	930,000	1,121,000
1年内返済予定の長期借入金	295,242	272,852
リース債務	31,021	30,582
未払金	188,965	212,465
未払法人税等	59,604	64,212
未払消費税等	12,919	28,964
預り金	13,606	12
賞与引当金	26,500	66,367
その他	3,230	—
流動負債合計	1,950,241	2,388,268
固定負債		
長期借入金	608,576	464,367
繰延税金負債	—	536
リース債務	74,067	68,915
退職給付引当金	109,177	187,839
資産除去債務	8,204	8,321
固定負債合計	800,024	729,979
負債合計	2,750,266	3,118,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,323	522,323
資本剰余金		
資本準備金	389,632	389,632
資本剰余金合計	389,632	389,632
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	6,653	6,607
繰越利益剰余金	492,179	527,071
利益剰余金合計	498,832	533,678
自己株式	△ 1,112	△ 1,112
株主資本合計	1,409,675	1,444,521
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,839	3,956
評価・換算差額等合計	4,839	3,956
純資産合計	1,414,515	1,448,478
負債純資産合計	4,164,781	4,566,727

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
売上高	4,084,619	3,789,640
売上原価	2,993,320	2,785,600
売上総利益	1,091,299	1,004,039
販売費及び一般管理費	799,587	760,007
営業利益	291,711	244,031
受取利息及び受取配当金	148	269
その他営業外収益	9,819	5,779
営業外収益合計	9,967	6,048
営業外費用		
支払利息割引料	34,351	28,450
その他営業外費用	285	4,510
営業外費用合計	34,636	32,961
経常利益	267,042	217,119
特別利益		
固定資産売却益	—	147
投資有価証券売却益	—	3,980
特別利益合計	—	4,127
特別損失		
固定資産除却損	365	—
特別損失合計	365	—
税引前四半期純利益	266,676	221,247
法人税、住民税及び事業税	71,502	93,489
法人税等調整額	△ 24,974	3,309
法人税等合計	46,527	96,798
四半期純利益	220,149	124,448

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	266,676	221,247
減価償却費	72,394	68,218
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 568	△ 307
賞与引当金の増減額(△は減少)	35,303	39,867
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 1,063	△ 2,098
受取利息及び受取配当金	△ 148	△ 269
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△ 3,980
支払利息	34,351	28,450
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△ 147
有形固定資産除却損益(△は益)	365	—
売上債権の増減額(△は増加)	△ 160,113	△ 520,942
割引手形の増減額(△は減少)	△ 10,380	78,525
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,764	69,075
仕入債務の増減額(△は減少)	166,030	202,660
その他資産・負債の増減額	△ 45	25,124
小計	412,567	205,422
利息及び配当金の受取額	148	269
利息の支払額	△ 35,694	△ 30,182
法人税等の支払額	△ 36,723	△ 87,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	340,297	88,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△ 1,266	△ 1,287
投資有価証券の売却による収入	—	8,349
有形固定資産の取得による支出	△ 33,511	△ 64,619
無形固定資産の取得による支出	△ 367	—
定期預金の払戻による収入	8,000	30,000
定期預金の預入による支出	△ 36,000	△ 45,000
保険積立金の積立による支出	△ 12,271	△ 15,298
その他投資の増減額	△ 388	5,186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 75,806	△ 82,668
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 15,000	191,000
長期借入れによる収入	250,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△ 349,146	△ 266,599
リース債務の返済による支出	△ 25,459	△ 25,466
配当金の支払額	△ 8,742	△ 8,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 148,347	△ 9,842
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	116,143	△ 4,062
現金及び現金同等物の期首残高	193,795	256,514
現金及び現金同等物の四半期末残高	309,939	252,451

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。